

2019年10月18日 第3310回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 田邊 会長

<斉 唱> 「それこそロータリー」

<会 長 報 告> *第4回理事役員会 報告

*ガバナー事務所より

・米山学友会主催「国際交流会」の開催のご案内について

11月24日(日)13:00~16:30 於：二宮町町民センター

<委員長報告> *平松会計より2018-19年度収支会計報告

*高橋(秀)監事より2018-19年度監査報告

*VTT特別委員会岡田委員長/山下副委員長より今年度VTT活動について

<幹事報告> *ガバナー月信 No. 4

*週報・横須賀南西RCより受領

<出席報告> *出席委員会 猿丸副委員長より10月18日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出 席 数	欠 席 数	メイクアップ数	出 席 率
119名	104名	64名	40名	9名	70.19%

<ニコニコ報告>

・三 役 松本明弘会員、梁井会員、本日の卓話宜しく申し上げます。

・畑、田中、岩崎、齋藤(眞)、鈴木(豊)、中村(備)、瀬戸、波島、植田、高橋(秀)、小平、中山、大竹、小山(巖)、福西、八巻、北村、Enora、谷、勝間、角井、澤田、山下、徳永、長尾、上林、杵淵、鈴木(功)、飯塚、兼城、石田、岡田、三堀、原田、若麻(績)、平松、鈴木(剛)、猿丸、八木、前川、根岸、前田 各会員

松本明弘会員、梁井会員、本日の卓話宜しく申し上げます。存分にしゃべりたおしてください。

・梁井 会員 新会員卓話で皆様の貴重なお時間を頂きます。どうぞよろしく願い致します。

・松本(剛) 会員 頑張ります。

・丸山 会員 御心配、お掛け致しました。

・飯塚 会員 NTT田中会員に大変お世話になりました。ありがとうございました。

・岩崎 会員 逗子オーリーブス~県工業卒、小川一平君ドラフト阪神タイガース6位指名おめでとうございます。

<新会員卓話 1>

松本明弘 会員

【松本明弘会員プロフィール】

昭和26年7月28日、東京都練馬区に父・松本孝一、母・松本政子の三男として生まれる(現在68歳)。

・家族

妻・記代子との間に長男・大介と次男・弘平が生まれる。

・ヒストリー

昭和40年 日本児童芸能学園入団

昭和45年 専修大学付属高校卒業

昭和47年 東洋経済入社

昭和47年 ビクター民踊研究会指導員
昭和58年 東京都新宿区 (株)ユニバーサルプランニング設立
平成28年 住よしグループ 営業統括本部就任
現在に至る

・趣味

民踊民舞、音頭太鼓演奏、ゴルフ

・座右の銘

『人生はトライだ!』

・本日の卓話テーマ

ここだけの話

【卓話本文は、本人の意向により割愛させて頂きました。
た。】



<新会員卓話 2>

梁 井 康 市 会 員



皆様こんにちは。昨年7月に小沢会員のご紹介で入会させて頂きましたグローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパンの梁井と申します。

私は、昭和36年12月7日に福岡県春日市で生まれました。5歳離れた姉がおりまして、5歳という、例えば小学1年生と6年生という関係で、喧嘩にならない絶対的な服従関係がありました。家の外でもどちらかかというといじめられっ子だったようです。ただ、今もですが、何事にも驚異的に鈍感だったようで、いくらいじめられても黙って学校には通っていたようです。

また、騙されることも超一流で、小学1年生の時だったと思いますが、ジャングルジムで遊んでいる時友達

が冗談で言ったことを本当に実践してしまったようで、数メートル下の地面に落下し意識を失ってしまう事件もありました。なお、私が何事も忘れっぽいのは、この時にねじが数本外れたためかと推測しております。

大学は、九州大学工学部の原子力関係の学科に入学しました。その際、団員が不足していたオーケストラの強烈的な勧誘に負けてしまい、無謀にもバイオリンを始めました。これは、その後下手ながらバイオリンを続けたおかげで、就職後アマチュアオーケストラで今のかみさんに出会ったという観点では大きな出来事でした。

就職は茨城県の大洗町にあります日立と東芝の合弁の原子力関係の研究所に就職し、研究者の端くれとして14年間過ごしました。その後、2002年1月に研究所の一部がグローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパンに吸収され、横須賀でお世話になることとなりました。転籍当時は生産技術を担当していましたが、2015年4月から広報とコンプライアンス担当となり、広報活動を通じて地域の方とお話する機会を頂いております。他の地区でも同様かと思いますが、久里浜地区では地域の夏祭りや運動会等、地域活動が活発だと感じます。ただ、地域の活動を率先して行っているほとんどの方がご高齢で、これからの活動が少し心配です。今後も微力ながら地域活動に貢献していきたいと思っております。

また、地域の方々と原子力の話をする機会も多く、地域の町内会長さんなどとお話するたびに、地域の皆様のご理解を頂いて初めてここで操業出来ているのだと感じております。これからも安全最優先と透明性を確保していきたいと思っております。

原子力発電につきましては、会員の皆様は様々な意見をお持ちでしょうし、短時間でご説明をすることが困難と感じますので、本日は割愛させて頂き、現在の私が楽しんでおりますアンサンブルについて少しお話ししたいと思います。

アンサンブルは複数の人間が集まってひとつの音楽を作り出す作業ですが、これをうまく行うためのポイントがあるような気がします。ここで重要だと思ふポイントをロータリーの「4つのテスト」と比較してご紹介したいと思います。

まず、「①真実かどうか」ですが、これをアンサンブルのテストとしては、「①周りを良く聴いているか」です。周りに座って演奏しているメンバーの音を良く聴くと、自分のズレが分かり、アンサンブルの音と一体化するための音作りが出来ます。逆に周りの音を聴かないと、正しい音程やリズムで演奏することが出来ません。アンサンブルの真実は、周りの音を良く聴かないと分からないということです。

2番目の「②みんなに公平か」は、「②相手を尊重しているか」です。一見アンサンブルは公平ではありません。それは、主役である旋律を担当するパートがあれば、それを引き立てる伴奏を担当するパートがあるからです。しかし、これを主役と脇役と捉えず、旋律の陰で美しい和音を作り出す伴奏があつて初めて旋律パートが気持ちよく演奏できると捉え、どのパートも重要な役目を担っているのだと、お互いのパートを尊重し合えるアンサンブルは良い演奏が出来るものです。

3番目の「③好意と友情を深めるか」は、「③遠慮しない」です。自分のことは棚に上げて相手のことをズバズバ言い合う方が、結果的にわだかまりがなくストレスフリーで練習出来ます。現在私が所属しているアンサンブルは、フランクに言い合える仲間でいようという意味で、その名もアンサンブルフランといい、今年で創立42年目となります。遠慮せず何でも言い合える方が友情を深め長続きすることを実証しているような団体だと思います。

最後、「④みんなのためになるか」ですが、これは「④ベクトルを合わせているか」ということです。ひとつの音楽を作るためには、単に音楽の速さや音量音程を合わせるだけでなく、その音楽のイメージが揃わないと魅力的な音楽にはなりません。全員が想像力を持って、どんな音楽を表現したいのか、曲のイメージを合わせることで聴衆に訴えることが出来ます。つまり聴衆を感動させる、団員みんなが望んでいる一つの音楽を作ることが出来る、ということです。

以上、少々苦しいですが4つのアンサンブルのテストは、「①周りを良く聴いているか」、「②相手を尊重しているか」、「③遠慮しない」、「④ベクトルを合わせているか」となります。是非、オーケストラなどの演奏会では、この4つのアンサンブルのテストの観点で聴いてみるのも面白いかと思います。

最後に自己紹介に戻りますが、昨年は大腸ポリープが見つかり、緑内障と診断され、前庭神経炎になって10日間入院したりと、鈍感な私もさすがにへこむ出来事が連続して起こり、この先何が起こるか分からないと感じ、これからはどんどん挑戦しなければと思っているところです。今年の7月には富士登山に、来月は横浜マラソンに参加します。残念ながら富士登山は高山病のような症状で3100mリタイヤという苦い思いをしたので、来年リベンジいたします。

せっかく入会させて頂いた横須賀ロータリークラブでは、会員の皆様からご指導頂いているだけでまだ何も出来ておらず、申し訳なく感じております。少しでもお役に立つために、積極性を持って奉仕活動ができるよう努力して参りたいと思います。皆様今後どうぞよろしくお願い申し上げます。

ご清聴ありがとうございました

<閉会・点鐘> 13:30 田邊 会長

週報担当 岩崎 次郎